

体としても定員を超えたので、一部参加をお断りせざるを得なかった。第十五回は、一九九七年三月二十日(木)(祝)二十三日(金)に開催を予定している。

これらの「合宿エンカウンター・グループ」では、オープン・フライデーや土曜友の会のような話しあいが集中的に行われる。その中で、人と対比したり、自分の歩みをふりかえったりして、自分を見直すことができたり、出会いや心の交流によって、自身をリフレッシュできたりする効果がある。

あなたも一度、このような会に参加してみませんか?

二、研究会活動

研究会に関しては、前年度同様、室長・専任・非常勤相談員、運営委員、事務補佐員による「学生相談研究会」を三回行つた。

また、総合科学部から講師等旅費・謝金をいただいて、学内向け「学生相談研究会」も開催した。この年度は、ただいた。参加者は学内外から三十一名だつた。

今年度、学生相談室はさらに、教職員との連携を強めたため、もう一つの研究会を計画している。テーマは「難しい学生への対応」。教官の指導事例や、窓口職員の対応事例等を中心に、経験名だつた。

しかしカウンセラーは、教官定員問題との関係もあって、増員されるどころか、一九九二年には学生相談室で一人減員されてしまった。そんなご時世ではあるが、非常勤予算を活用するなど何らかの方法で実質的な増強が望まれる。

総合科学部学生相談室は、もともと、教養部教官会が自発的に創設した機関である。そのころ教養部には、チユーター・グループが定期的な集まりを行つたり、合宿セミナーを行つたりするようだ。学生教育への熱意を感じさせる雰囲気がみなぎっていた。学生のうな連帯感がしばしば示されていた。

学生相談室もそのような基盤があつたからこそ、より有効に機能していたと思う。あのような人間的なコミュニケーションに満ちた雰囲気を全学に復活させることができれば、学生の自殺も減少するだろう、と私は思う。

また、ネットワーク回復のキー・ポ

は、引き続いて広島学生相談研究会例会を当番開催し、広島経済大学の森田裕司先生の事例報告を聞かせていただいた。

ちなみに、広島学生相談研究会は、大学の学生相談関係教職員なら誰でも参加できる。一九九三年の発足。年四回、会場校持ち回りで開催し、この年度までに通算十二回。二十五校から、実数九十三名、のべ二七八名が参加している。今年度は、かけ出しかウンセラーや一般教職員向けてとして、カウンセリング基礎実習を含む「研修会」などを計画している。

一方、全国学生相談研究会は、第二十九回の年次シンポジウムを一月に七尾市で開催した。このときの総会で、広島大学学生相談室は再びこの会の事務局をお引き受けすることになった。この研究会は、全国の、主として国立大学の学生相談カウンセラーの会で、会員数は約百名。実は、昭和四十二年一度、一九六八年一月に宮島で第一回シンポジウムを開催したときの幹事大学が、広島大学教養部学生相談室。「学生相談研究会議」という名称・組織がきまた第七回、一九七四年、西条での会を当番開催し、最初の事務局になつたのも広島大学学生相談室であった。

平成七年度、広島大学学生相談室は、この会の第十一回「エンカウンター・グループ」を当番開催した。このエンカウンター・グループの当番開催も、広島大学としては一九七五年の初回以来三度目。総合科学部学生相談室とし

ての当番開催も、この会のしばらくの中斷後、再開に成功した一九八八年の第七回以来、二度目である。

また、この研究会議の専任カウンセラー懇話会では、「全国大学学生相談ガイド」(約二百頁、実務教育出版)を刊行することになった。広島大学学生相談室も、この編集委員会に参加し、学

生相談機関約一七〇機関に原稿を依頼して、その約九〇%から原稿をいただきことができた。この本は今年四月下旬に発行された。全国の大学生が、少數だが、来談学生の自殺に出たことなどができた。しかしその不幸な事例はすべて、病院に入院したりして、大学進学希望者や、カウンセリンセリング基礎実習を含む「研修会」などでも計画している。

一方懇話会では、「全国大学学生相談ガイド」(約二百頁、実務教育出版)を刊行することになった。広島大学学生相談室も、この編集委員会に参加し、学

生相談機関紹介のページの企画や、機

セリング基礎実習を含む「研修会」なども計画している。

一方懇話会では、「全国大学学生相談ガイド」(約二百頁、実務教育出版)を刊行することになった。広島大学学生相談室も、この編集委員会に参加し、学



四、学生の自殺と学生相談

ではそのような方法、具体的な事例、これから工夫等について、経験の交流をはかりたいと思っている。このようないくつかの学部には保健室がある、オアシス機能を果たしている。中には、あやうくたよって、「学生相談」は、「一般教員の紹介ケースも多かつた。その保健室が、キヤンパスの統合移転等の関係から、いまは保健管理センターへかかる」と私は思う。

かつていくつかの学部には保健室があり、「学部保健室の再整備」であったように、「学部保健室の再整備」であると私は思う。この会の第十一回「エンカウンター・グループ」を当番開催した。このエンカウンター・グループの当番開催も、広島大学としては一九七五年の初回以来三度目。総合科学部学生相談室とし

ての当番開催も、この会のしばらくの中斷後、再開に成功した一九八八年の第七回以来、二度目である。

また、この研究会議の専任カウンセラー懇話会では、「全国大学学生相談ガイド」(約二百頁、実務教育出版)を刊行することになった。広島大学学生相談室も、この編集委員会に参加し、学

生相談機関紹介のページの企画や、機

セリング基礎実習を含む「研修会」なども計画している。

また、この研究会議の専任カウンセラー懇話会では、「全国大学学生相談ガイド」(約二百頁、実務教育出版)を刊行することになった。広島大学学生相談室も、この編集委員会に参加し、学

生相談機関紹介のページの企画や、機

相談及び留学生支援について」という答申を提出した。その要点は、「悩みをかかえる学生に適切な援助を行うため、保健管理センター及び総合科学部学生相談室の活用を図るべきである」「教職員が学生への援助に積極的にとり組む」「留学生相談体制を強化する」などで、自殺を選ばなければならないほど悩んでいる学生。

「答申」にも述べられており、カウンセラーが関知していない人たちである。私も、少数だが、来談学生の自殺に出たことはある。しかしその不幸な事例はすべて、病院に入院したりして、私との援助関係は切れている状況の中であった。打つべき手は打つても、不幸が避けられないこともあるということもあろうか。逆に、相談によって、相談者の心が痛むことがある。しかし、その不幸な事例はすべて、病院に入院したりして、私との援助関係は切れている状況の中であつた。打つべき手は打つても、不幸が避けられないこともあるということもあろうか。逆に、相談によって、相談者の心が痛むことがある。

「答申」にも述べられており、カウンセラーが関知していない人たちである。私も、少数だが、来談学生の自殺に出たことはある。しかしその不幸な事例はすべて、病院に入院したりして、私との援助関係は切れている状況の中であつた。打つべき手は打つても、不幸が避けられないこともあるということである。

「答申」にも述べられており、カウンセラーが関知していない人たちである。私も、少数だが、来談学生の自殺に出たことはある。しかしその不幸な事例はすべて、病院に入院したりして、私との援助関係は切れている状況の中であつた。打つべき手は打つても、不幸が避けられないこともあるということである。

「答申」にも述べられており、カウンセラー